

事務事業名	環境事業部施設管理運営事業										
事業開始年度						担当部署		環境事業部減量総務課			
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・枚方市廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例・枚方市開発事業等の手続等に関する条例										
実施方法	☐ 直営 ☐ 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:										

事業概要説明シート

事務事業番号 30336

事務事業名	環境事業部施設管理運営事業				
事業開始年度		担当部署	環境事業部減量総務課		
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
	① 保安全管理日数	日	365	366	365
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費(直接経費)/保安全管理日数	円	127,176	124,569	140,803
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	・施設管理を適正に行い、安全確保を行う。 ・開発行為等による新たなごみ置場の設置を確認し、供用開始を行う。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	特に把握していない。				
特記事項	・本事業の直接経費のうち最も比重の高い「光熱水費」(93%)については、按分が困難であるため清掃工場での使用分も含んだ数値となっている。 ・事務事業単位である「環境事業部施設管理運営事業」と「管理棟維持管理事業」では両事業ともに関係する経費が存在するため、比重の高い方の事業の方に計上しているケースがある。(清掃委託料・警備委託料など) *ごみ置場の供用開始後にあつては、鳥獣等によるごみの散乱や、自治会の掲示板設置などに対して、住民への指導や事務手続きを実施している。ごみ置場の修繕についても随時実施している。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	各施設など管理運営を図るため、保安全管理やごみ置場の適正指導などを継続して行う。			
一次評価結果	より一層の効率的な管理運営を図れる可能性がある。				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	各施設などの管理運営を図るため、保安全管理やごみ置場の適正指導などを継続して行う。			